

2025年6月24日

アメリカ合衆国大統領 ドナルド・トランプ 殿

山口県高等学校教職員組合
執行委員長 石田 高士

**イラン核施設に対する米国の攻撃を断固糾弾し、
無法行為の即時中止を要求する**

1、米国トランプ政権は6月21日、イランの三つの主要な核施設に対し、大規模な空爆を行った。この攻撃は、国際法と国連憲章を蹂躪する無法行為であり断固糾弾する。

イスラエルによるイラン核施設への無法な先制攻撃に続く今回の攻撃は、中東での軍事対軍事の緊張をエスカレートさせ、紛争の拡大を招く最悪の行為である。アメリカ政府に対して、これ以上の無法行為をただちに中止することを強く求める。

1、イランの核開発問題は、すでに長期にわたり国際原子力機関（IAEA）や関係各国、アメリカとの間でも協議が続けられていた。今回の攻撃は、それを乱暴に破壊するものである。核施設への攻撃は、ジュネーブ条約をはじめとする国際法違反の行為であり、周辺住民や国境を越えた地域への核汚染を引き起こしかねない。核施設への野蛮な攻撃を即刻止めるよう強く求める。

以上